

ロトルア小旅行で 広がる友情

2017年度 ニュージーランド研修

1年生が陥りがちな、笑顔であつてもよそよそしい人間関係を超え、より深い絆を築くことができる。日

会的スキルを学ぶ。

もチームワークができる社

で、異文化を理解し語学力

を向上させるだけでなく、

どのようなところに行つて

4か月後に海外へ行くこと

事後研修もあり、単位が取

得できる。入学してわずか

しながら約3週間を過ごす

プログラムだ。

前期に事前研修、後期に

事後研修もあり、単位が取

得できる。入学してわずか

しながら約3週間を過ごす

プログラムだ。

前期に事前研修、後期に

事後研修もあり、単位が取

得できる。入学してわずか

しながら約3週間を過ごす

プログラムだ。

前期に事前研修、後期に

事後研修もあり、単位が取

得できる。入学してわずか

しながら約3週間を過ごす

プログラムだ。

前期に事前研修、後期に

事後研修もあり、単位が取

得できる。入学してわずか

しながら約3週間を過ごす

プログラムだ。

語学と、もうひとつの目的

2017年度の江戸川大学ニュージーランド研修Ⅰには全学部・学科から総勢121名の学生が参加した。そのなかで、Aコースのメディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科の学生43名は、8月26日から9月12日の18日間、オークランドにあるマッセイ大学アルバニー校で英語の語学研修を行った。研修の合間の小旅行では、ニュージーランドの生活・文化を学んだだけでなく一気に学生間の人間関係が広がった。(取材・写真: 池谷明日香)

NZ研修Ⅰ出発前

ニュージーランド研修

Ⅰは、1年生の夏休みに、ニュージーランドの大学で語学を学び、ホームステイしながら約3週間を過ごすプログラムだ。

前期に事前研修、後期に事後研修もあり、単位が取得できる。入学してわずか4か月後に海外へ行くことで、異文化を理解し語学力を向上させるだけでなく、どのようなところに行つてもチームワークができる社会的スキルを学ぶ。

1年生が陥りがちな、笑顔であつてもよそよそしい人間関係を超え、より深い絆を築くことができる。日々の小旅行だった。

常生活から離れた海外研修では、達成しやすい。事前研修ではコース別に分かれて、自己紹介などを行うこともあった。ところが、すでに知り合っているグループで固まって話をしているだけの状態だった。ニュージーランドではホ

ストファミリーと過ごす時間が長い。学生どうしで自由にコミュニケーションできる機会は大学でのランチ時間ぐらい。研修のあいまに参加することができたランポリンや動物園ツアーなどのアクティビティーは学生間の友好を深める貴重な機会だった。Aコースのなかでも38人と一番参加人数が多かったのがロトルアへの1泊2日の小旅行だった。



ロトルア1日目

1日目はワイトモ洞窟の「土ボタル」を見学した。土ボタルはハエの幼虫で虫をおびき寄せるため青白い光を放っている。ボートに乗り真っ暗な洞窟内で点々と輝く幻想的な景色に見

入った。ホテルはバックパッカーたちが泊まるようなところで、一部屋にたくさんのベッドが置かれている。夕食は、買い物組とカレー作り・バーベキュー組で分かれた。交代で温泉プールにも入れた。部屋割りは、Aコースのリーダーを務めた榎本優奈さんの提案で、早めに寝たい人と夜更かししたい人で分かれることになった。私は早めに寝たいグループだったが、限られた時間で話やゲームをして一気に心理的な距離が縮まった。高校の修学旅行のような



ロトルア2日目

午前は、牧場で羊のショーを見学した。羊の種類の説明があり、乳しぼり体験や毛刈りショーを楽しんだ。午後はロトルアの「リュージュ」というゴー

カートのような乗り物を体験した。山のなかを巡る怖くも楽しいアトラクションだった。初心者コースと上級者コースの2つのコースがあり、学生たちの歓声が響いた。2日目は1日目の部屋割りで一緒になっ



た人たちが行動を共にする姿を見ることができ、学生間の人間関係が広がったことが見て取れた。ニュージーランド最終日、榎本さんに研修の感想を聞くと「ロトルアでみんなとの距離が一気に縮まった気がしました」とロトルア小旅行の思い出を語った。

帰国後

秋の澄んだ陽光が眩しい。研修を共に過ごした学生たちが一緒に歩いてたり、学食で昼食を食べたりする姿を見かける。事後研修では前期のきこちゃんさきさきすっかり消えていた。研修で新しい友情の輪が広がったと感じた。